

## 1 ロートコン

### 2 確認試験の項を次のように改める。

3 確認試験 本品の粉末2.0 gを共栓遠心沈殿管にとり、アンモ  
4 ニア試液30 mLを加えて5分間超音波を照射した後、遠心分  
5 離する。上澄液を分液漏斗にとり、酢酸エチル40 mLを加え  
6 て振り混ぜる。酢酸エチル層を分取し、無水硫酸ナトリウム  
7 3 gを加えて振り混ぜ、液が澄明となった後、ろ過する。低  
8 圧(真空)でろ液の溶媒を留去し、残留物をエタノール(95) 1  
9 mLに溶かし、試料溶液とする。別にアトロピン硫酸塩標準  
10 品又は薄層クロマトグラフィー用アトロピン硫酸塩水和物2  
11 mg及びスコポラミン臭化水素酸塩標準品又は薄層クロマト  
12 グラフィー用スコポラミン臭化水素酸塩水和物1 mgをエタ  
13 ノール(95) 1 mLに溶かし、標準溶液(1)及び標準溶液(2)とす  
14 る。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー (2.03) に  
15 より試験を行う。試料溶液、標準溶液(1)及び標準溶液(2) 5  
16  $\mu$ Lずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調  
17 製した薄層板にスポットする。次にアセトン/水/アンモニ  
18 ア水(28)混液(90 : 7 : 3)を展開溶媒として約10 cm展開した  
19 後、薄層板を80°Cで10分間乾燥する。冷後、これに噴霧用  
20 ドラーゲンドルフ試液を均等に噴霧するとき、試料溶液から  
21 得た2個の主スポットは、標準溶液から得たそれぞれのスポ  
22 ットと色調及びR<sub>f</sub>値が等しい。  
23  
24